

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 農野 寛治
授業テーマ 子どもの福祉問題を考える		
授業の概要と目標 2005年版少子社会白書では、日本を「超少子化国」と称した。人口の総数も2万人減少し、予想を早まる勢いとなっている。次世代育成支援対策推進法の制定、「子ども・子育て応援プラン」の策定と矢継ぎ早の施策が立ち上げられているが、一方現代の日本にはさまざまな子どもの問題も顕在化している。子どもの福祉問題とは何か。どのような課題が山積されているのか。問題を切り取る力と、それを考えるプロセス、文章化する力を身につけることを目的としている。		
評価方法 積極的な「学びの姿勢」が必要。課題の達成度と授業への姿勢等、総合的に評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書 適宜、紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) オリエンテーション 2) 少子社会の構造(1) 人口構造と社会 3) 少子社会の構造(2) 晩婚化・未婚化・夫婦の出生力の低下 4) 「子ども」という存在を考える 5) 少子社会と出産育児を考える 6) 1994エンゼルプラン以降の施策展開(1) 7) 1994エンゼルプラン以降の施策展開(2) 8) 1994エンゼルプラン以降の施策展開(3) 9) 1994エンゼルプラン以降の施策展開(4) 10) 社会的子育て支援を考える 11) ワークショップ・子どもの権利 12) 子ども家庭福祉の理念(権利擁護と自己実現) 13) マイノリティを考える 14) 子どもの福祉問題を切り取る(1) 15) 子どもの福祉問題を切り取る(2) 16) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(1) 17) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(2) 18) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(3) 19) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(4) 20) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(5) 21) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(6) 22) 各自取り上げた問題の論述をもとに発表(7) 23) ワークショップ・子どもの福祉問題(1) 24) ワークショップ・子どもの福祉問題(2) 25) 研究テーマの設定(1) 26) 研究テーマの設定(2) 27) 文献検索とリストアップ(1) 28) 文献検索とリストアップ(2) 29) 研究テーマの構成 30) 総括…何を学んだのかを自己評価		